

# 先週の回答

「十二支(えと)ですか?十二支は、えいと、シヤレじやありませんよ。たしか、子(ね・ネズミ)、丑(牛)、寅(虎)、卯(う・ウサギ)、辰(竜)、巳(み・へビ)、午(馬)、未(羊)、申(猿)、酉(鶏)、戌(犬)、亥(猪)でしたね」

「たしか、おまえは犬年だったな」

「はい、犬年です。パパはたしか馬年でしたね・・・」

「だからどうした」

「お互い肩身がせまいですね」

「なぜ?」

「馬も犬もいたとえに使われないじやないですか、扱いが軽いですよ」

「たとえば?」

「むだに年をとることを、馬齢を重ねるなんて言うし、無駄死にを犬死にと言う



でしょう。馬も犬も、無駄の代名詞みたいに使われますから」

「極め付けは『犬馬の勞』だな」

「何ですか?それは」

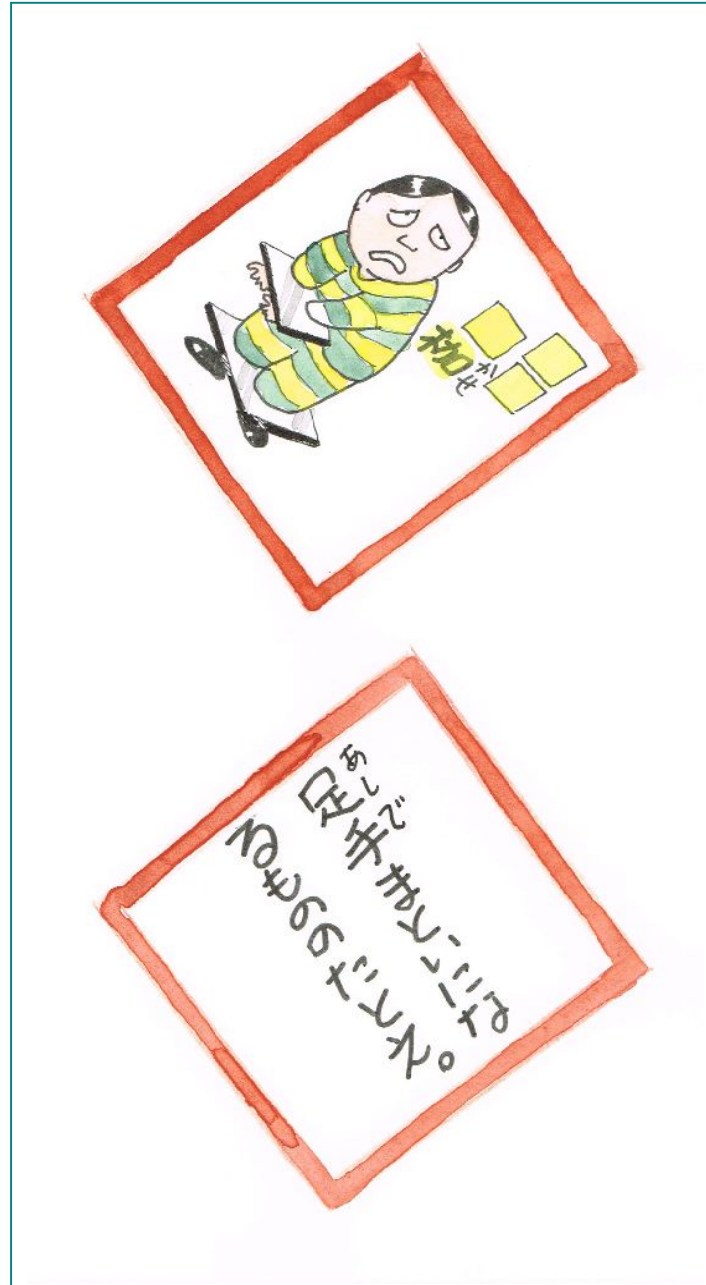
「主人にこき使われてがむしゃらに犬や馬のように働かされることを、犬馬の勞を尽くすというんだ」

「主人はパパじゃないですか・・・いや、今はママか。そういえば、むかしはもつとパパは丸顔だったけど、いつの間にか顔が長くなってきたような気がします」

「ヒビ——ン



# 今週の問題



□の中に漢字を埋めて  
四字熟語を完成させてください。